

第 6 回 通 常 総 会 記 録

日 時 昭和50年6月7日 午後1時

場 所 富山市新総曲輪2番21号
農協会館5階ホール

近年農家生活をとりまく諸情勢の変化は農民の健康についても新たな問題が生じております。当研究会もこれに対処するため、関係諸機関のご協力により新たな観点から研究調査を行ない着々と実績を重ねて参りました。ここに第6回通常総会を迎えるに当りこれらの研究結果を会誌第6号で発表いたしました。

本総会は、113名の出席と委任状85通で定刻に開催され、議案審議等とどこおりなく進められ看護研究家、花田ミキ氏の特別講演を拝聴し、本総会を終了いたしました。

以下総会の議事の概要と提出資料を掲載し参考に供します。

議 事 の 概 要

- 会 員 総 数 223名 うち出席113名、委任状85名
- 会 長 挨拶 豊 田 文 一
- 議 長 選 任 富山市民病院 長谷田 祐 作氏議長となる

○議事録署名者及び書記指名

議事録署名者 魚津市 友 岡 清 上市町 藤 繩 和 夫
書 記 島 和 雄 長谷川 登

○議 事

- 第1号議案 昭和49年度事業報告書、財産目録、収支決算報告について
事業の概要と主なる行事の報告に併せ財産目録及び収支決算について報告承認を得た
- 第2号議案 昭和50年度事業計画及び収支予算案の承認について
昭和50年度の事業計画と収支予算案を説明し承認を得た
- 第3号議案 役員の一部改選について
- 第4号議案 顧問の変更
第3号議案、第4号議案一括審議し役員、顧問の一部変更が承認され下記のとおり決定した。

	旧		新
富山県厚生部次長	渋谷 知 一	(転 任)	谷 久 重
富山県農産普及課長	穴 口 市 良	(転 任)	堀 田 良
富山県厚生連 滑川病院 院長	伊 藤 三 広	(辞 任)	一 柳 兵 藏
富山県厚生連会長	笹 島 太 一	(退 任)	今 井 行 雄

特 別 講 演

看護研究家 花田ミキ氏

演 題 (農村の人達の健康を守るために) 講演録1頁—10頁に掲載

事 業 報 告 書

昭和49年4月1日～昭和50年3月31日

昭和49年度終了にあたり、ここに事業の概況ならびに決算関係諸表のご報告を申し上げます。

本年は前年度に引き続き本会に課せられた使命にのっとり、本県における農山村の実態を医学的に調査研究を行ない、健康な農山村を築くための努力をいたしてまいりました。

本年度は昭和47年より3ヵ年計画でとりくんだ県下農村婦人の貧血調査の最終年度にあたり、貧血調査の他に、CMI、農夫症、労働状況、栄養についてのアンケートなども実施いたしました。これらの調査研究の各事項については、富山県農村医学研究会誌第6巻に、又それぞれの業績も掲載することができましたことを深く感謝申し上げます。

会員各位及び関係機関のご協力とご理解によりまして、第6年度も順調に事業を進めさせていただきたくお願い申し上げます。

主なる処理事項

年 月 日	処 理 事 項	事 項	
49. 4. 10	第1回役員会	於 農協会館5F会議室	第5回通常総会の件、会誌編集の件
4. 26	編集委員会	於 厚生連会議室	掲載順及び頁数の件
6. 3	第2回役員会	於 農協会館5F会議室	総会附議事項、本年度調査、その他
6. 8	通常総会	於 農協会館5Fホール	特別講演「現代日本農村と農村社会学」 二宮哲雄教授
6. 8	第1回専門委員会	於 厚生連事務室	50年度貧血調査の件
6. 20	第2回専門委員会	於 厚生連会議室	健康調査日程及び調査内容について
6. 27	健康調査記入帳作成の打合せ		
7. 2	健康調査記入帳（指導員のききとり及び記入の仕方）説明会		
7.4～24	健康調査実施（第1回）470名		
9. 23	第3回役員会	於 金沢市会館加賀	健康調査結果報告、日農医総会出席者の件
12. 1	農業機械による聴力障害の検査 於 上市厚生病院、上市地区86名		
12. 10	第4回役員会	於 農協高岡病院会議室	会誌募集について、上半期会計報告、その他
50. 1. 21	第3回専門委員会	於 元厚生連会議室	第3年次第2回の健康調査日程及び50年度調査についての検討
1. 26	農業機械による聴力障害の検査 於 上市厚生病院、上市地区75名		
1.30～3. 6	健康調査実施（第2回）418名		
2.25～28 3. 3	農業機械による聴力障害の検査 於 農協高岡病院 高岡地区 126名		
3. 7	編集委員会	於 農協会館5F会議室	校正及び頁数について
3. 12	第5回役員会	於 元厚生連会議室	会誌の編集の件、50年度総会の件 アジア農村医学会出席者の件
3. 30	農業機械による聴力障害の検査 於 農協滑川病院 滑川地区92名		

財 産 目 録

昭和50年3月31日

内 訳	金 額	
預 金	50,107	
計	50,107	

富山県農村医学研究会

昭和49年度 収 支 決 算 書

自 昭和49年 4 月 1 日 ~ 至 昭和50年 3 月31日

項 目	子 算 額	3 / 31 実 績	差 引 残 高
会 費 取 入	60,000	52,500	△ 7,500
会 費	60,000	52,500	△ 7,500
援 助 取 入	3,600,000	3,600,000	0
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0
特 別 負 担 金	1,800,000	1,800,000	0
雑 収 入	38,306	31,048	△ 7,258
雑 収 入	38,306	31,048	△ 7,258
前 期 繰 越	61,694	61,694	0
収 入 計	3,760,000	3,745,242	△ 14,758
会 議 費	390,000	309,987	△ 80,013
総 会 費	100,000	118,731	18,731
役 員 会 費	120,000	161,606	41,606
専 門 委 員 会 費	100,000	11,800	△ 88,200
編 集 委 員 会 費	70,000	17,850	△ 52,150
事 業 費	2,770,000	2,798,828	28,828
研 究 調 査 費	2,000,000	1,983,018	△ 16,982
研 究 集 会 費	100,000	0	△ 100,000
雑 誌 発 行 費	600,000	785,428	185,428
通 信 費	30,000	9,932	△ 20,068
消 耗 品 費	30,000	450	△ 29,550
備 品、 什 器	10,000	20,000	10,000
旅 費 交 通 費	200,000	182,430	△ 17,570
旅 費 交 通 費	200,000	182,430	△ 17,570
事 務 費	380,000	380,000	0
事 務 費	380,000	380,000	0
雑 費	10,000	23,890	13,890
雑 費	10,000	23,890	13,890
子 備 費	10,000	0	△ 10,000
子 備 費	10,000	0	△ 10,000
費 用 計	3,760,000	3,695,135	△ 64,865
次 期 繰 越		50,107	

昭和50年度 事業計画

昭和50年4月1日～昭和51年3月31日

1. 職業性疾患の調査研究

潜在性疾病、農夫症、ビニールハウス病等の調査研究

2. 農業災害の調査研究

農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究

とくに騒音及び振動の影響調査

3. 健康管理についての調査研究

農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導

農山村民の健康管理の調査研究

農村婦人の成人病実態調査に関する研究

農山村民の糖尿病の実態調査に関する研究

4. 農村特有の疾患の調査

伝染病、風土病等多発性疾患の疫学についての調査研究

5. 農村における社会医学的問題の調査研究

出かせぎ等による経済的、社会的問題の調査研究

6. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究

大気汚染、水質汚染等についての調査研究

7. その他目的達成に必要な事項

昭和50年度 収 支 予 算 書

自 昭和50年 4 月 1 日 ～ 至 昭和51年 3 月31日

収 入 の 部			
項 目	子 算 額	内 容	
会 費 収 入	60,000		
会 費	60,000	会費 200人× 300円	
援 助 収 入	3,600,000		
助 成 金	1,800,000	県費助成金	
特 別 負 担 金	1,800,000	農協各連負担金	
雑 収 入	49,893		
雑 収 入	49,893	預金利息その他	
前 期 繰 越	50,107		
合 計	3,760,000		

支 出 の 部			
項 目	子 算 額	内 容	
会 議 費	370,000		
総 会 費	120,000	会場借上料、資料代	
役 員 会 費	150,000	年12回会場借上料他12,500円×12回	
専 門 委 員 会 費	50,000	委員会開催費用	
編 集 委 員 会 費	50,000	雑誌編集委員会費用	
事 業 費	2,850,000		
研 究 調 査 費	2,000,000	研究調査費、学会参加旅費	
研 究 集 会 費	50,000	学会々場借上料、その他会場設備費 資料及び案内状印刷代、講師謝礼 集会雑費	
雑 誌 発 行 費	750,000	年 1 回 6 0 0 部	
通 信 費	20,000	電話代、切手代他	
消 耗 備 品 費	20,000	事務用消耗品その他	
備 品、 什 器	10,000		
旅 費 交 通 費	200,000		
旅 費 交 通 費	200,000	役員会旅費、専門委員会旅費	
事 務 費	320,000		
事 務 費	320,000	パート費用、印刷代その他	
雑 費	10,000		
雑 費	10,000		
予 備 費	10,000		
予 備 費	10,000		
合 計	3,760,000		

望まれる調査研究事項

1. 農夫症、ビニールハウス病等の職業性疾患について
2. 農業用機械、自動車等による産業災害に関する調査研究
3. 労働時間、休憩時間、作業強度、作業姿勢等の健康におよぼす影響についての調査研究
4. 農民の年齢、性その他の身体的諸条件に応じた作業法（たとえば婦人労働、老人労働など）についての調査研究
5. 農民の使用する毒物、劇物、農薬等に関する中毒学的試験および検査ならびに安全使用法、健康におよぼす影響等必要な調査研究
6. 人畜共通伝染病についての調査研究
7. 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導、医療確保（医療施設の整備、医師等の医療従事者の確保）など、農山村民の健康管理についての調査研究
8. 衣生活および住生活、活動と休養、体格と機能の生理衛生ならびに健康増進方法についての調査研究
9. 農民の食生活の実態および米、塩等、農民が多量に摂取する食品の栄養学的研究
10. 農山村における水道、下水道、汚物処理、そ族こん虫等の環境衛生に関する調査研究ならびに住宅その他地域計画の保健衛生に関する分野の調査研究
11. 農村保健に関する衛生統計、社会統計等の諸統計や各種データ収集、解析および資料の編さん
12. 伝染病、風土病および農村特有の多発性疾患の疫学について
13. 農村における社会医学的問題の調査研究
14. 農村における人口動態、人口移動、人口年齢構造など人口現象について
15. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
16. その他農山村保健の推進のため必要な調査研究

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（高岡市永楽町5番10号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostaglandin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 *Mocacus rhesus*, 山椒藻 *Salvinabatah* 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートル m、センチメートル cm、グラム g、キログラム kg 等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴジックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図書は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右 6.5cm に製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）図書の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献 1. 雑誌の場合 著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭40. 5のごとく）
2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

富山県農村医学研究会誌第7巻をお届け致します。

県内農村婦人の貧血に関する研究は本誌でひとまず結了となりますがこの3年間における関係各位の御尽力・御協力に対して心から敬意と謝意を表する次第であります。なお今年度（昭和50年度）から糖尿病を対象とする研究に着手したわけですが会員皆様方の一層の御協力をお願い致しまして立派な成果を挙げたいものです。

望まれる調査研究事項として当研究会では16項目を掲げていますが研究内容は2以上の項目にわたることも当然あり得るわけで今回も単純に各項目別に区分し難い貴重な発表が多数寄せられ編集担当者に嬉しい悲鳴を上げさせると一面もありました。さぞかし御苦心なさったろうにと思われるものでも紙面の都合で割愛せざるを得なかったようなものもありましたことも申し添えたいと存じます。

本号の会員便りには海外の見聞記が2編、これからも海外旅行をされる方が多々あると思われませんが貴重な体験の御報告を是非寄せて頂きたいものです。

なお今回から論説欄を創設致しました。会員各位よりの御高説を気軽に御投稿下さいませようお願い致します。

Y. H.

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌第7巻 昭和51年3月25日印刷・昭和51年3月31日発行
高岡市永楽町5番10号・富山県厚生連内 電話 高岡(0766)21-3930
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩井久作
印刷所 菅野印刷興業株式会社 富山県黒部市三日市 電話(0765)54-0112
